
絆外伝 四季

暁 京

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絆外伝 四季

【NZコード】

N1981A

【作者名】

暁京

【あらすじ】

双子の姉弟、遙陽と香月。二人の恋の、背徳の行方は。本編から三年後。二人は遠い、国にいた。

春。

この国は、日本ほど季節がきつちりと区切られてはいない。それでも私達の住む地域には雪も積もる。その雪をきらめかす清澄な太陽の光はあたかくて、大好き。

香月君はいつだつたか私の事を、“真冬の太陽”みたいと言つてくれた。かいがぶりすぎだけど、それでも嬉しい。

私が見見た香月君は、真夜中の月。明かりの少ない、こんな田舎町も月の出る夜はやわらかにひかるから。ささやかな、静かなひかりを運んでくれるから。どんなに冷たく暗い夜も、お月様にはかなわないから。お月様が出ていれば、私は夜が怖くない。

香月君が冬眠から（本人は長期休暇！って言つけど）覚めるのも、この季節。とにかくどこにでもギターを持ちこんで、座り込んで曲を作り始めてしまう。トイレの中でも、食事中でも、はたまたお風呂の中だつて。

私が名前を呼んでも上の空だから、そういう時は掃除機をかける事にしている。

「うおっ、何だよ、俺はゴミ、じやねえーって！」

その日の醒めた瞬間の、私をしつかり見つめてくれる琥珀の色が、大好き。ね、だから、ちょっと注意地悪しても許してね。

夏。

遙陽が一番充電切れになる季節だ。しおれた花のよう、ぐつたりとする。最近は冷蔵庫のそばで眠る、という新たな新興宗教みたいな奇妙な行動を気に入っている。だから夏はあんまり好きじゃない。一緒に眠ろうと言つても、

「香月君、暑いからやー」

と言つて近寄つてくれないからだ。……冬になると僕が寒がつても勝手にベッドに潜り込んで熱を奪い取つてゆくくせに。

「この国に、七夕なんて習慣は無いけど、それでも七月七日は一人で星を見る事にしている。願い事は一つだ。あの頃と全く変わっていない。

誕生日。この夏僕らは二十歳になる。

秋。

香月君の仕事が一段落するこの季節は、私はいっぱい料理を習つ。私に言わせれば私がすこーし料理が得意ではないのは、経験値が少ないため。香月君に言わせれば、先天的に才能がないらしい。

「おまえの分まで俺がとっちゃつたみたいだな」

……うん、憎たらしげけど、香月君の作るご飯は確かにおいしい。

高野豆腐とすいとんと納豆、それにこしひかり百パーセントのお米が好きな私達にとって、この国は少し不便。多分、私達の好物を聞いたら光君あたりは、「おまえら、還暦のジジババか」とて言うんだろうなあ。

あ、もう一つ。肉抜きの肉うどんも大好き。でもこれは香月君に変人呼ばわりされる。

「それは肉うどんって言わねえつ」

つて。……何か前にもこんな事があつたような?

冬。

一番好きだ。

雪に悶えやされると、音は吸い取られる。言葉は意味を持たなくなる。

遙陽は雪がよく似合う。雪だるまを作りうと、子供達に誘われて頬を赤くして雪を丸める姿。小さな子供のように。

女神のように、綺麗だ。

人製湯たんぽが、活躍するのもこの季節だ。ただし遙陽は見かけに寄らずものすごく寝相が悪い。ゆえに、朝目覚めると布団に丸まつてるのは彼女だけで、俺はベッドから転がり落とされていり、なんて事もまれではない。

真夜中に見るDVDのホラー映画も、冬に見るほうが好きだ。どんなに恐ろしいシーンでも、隣りに確かな体温があれば、怖いものなどない。ちなみに遙陽はホラー大好き人間だ。何でも“血沸腾き肉踊る”のがいいらしい。……末恐ろしい。

新しい春がやって来る前に、犬を一匹飼おうと言っている。遙陽がもう、名前は考えている。

ムン太。

由来を聞いた時は呆れるを通り越してじつぱずかしかつたけれど。

春のキスは雨の。夏のキスは氷の。秋のキスは木の葉の。冬のキスは雪の。四季ひとつひとつ、確かに香りがする。

巡り巡る時の流れ、抱き合っては甘美な背徳の熱をかわし合い、^{とわ}永遠に同じ夢を見る……。

(後書き)

続編をリクエストして下さった方々、ありがとうございます！一人の出会いを書く予定でしたが、「続きが見たい！」と言つた下さる方が多かつたのでこのような形にさせて頂きました。いかがでしたでしょうか。この一人を書くのは非常に楽しいです。ラブつぶりが……笑。少しでも楽しんで頂ければ幸せです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1981a/>

絆外伝 四季

2010年10月13日17時16分発行